

MINIMAL MAXIMAL

Minimal Art and its influence on international art of the 1990s

ミニマル マキシマル

ミニマルアートとその展開 現代アートの原点がここにある

新世紀・市制施行80周年記念

カール・アンドレ
Carl Andre (USA)
ミロスワフ・パウカ
Miroslaw Balka (PL)
ラリー・ベル
Larry Bell (USA)
ダニエル・ビュレン
Daniel Buren (F)
フィリップ・カザール
Philippe Cazal (F)
ダン・フレイヴィン
Dan Flavin (USA)
ライアム・ギリック
Liam Gillick (GB)
フェリックス・ゴンザレス=トレス
Felix Gonzalez-Torres (USA)
ハンス・ハーケ
Hans Haacke (G)
モナ・ハトゥーム
Mona Hatoum (GB)
フランカ・ヘルンシエマイヤー
Franka Hörnschemeyer (G)
ドナルド・ジャッド
Donald Judd (USA)
ディーター・キースリンク
Dieter Kiessling (G)
ヴィリ・コップフ
Willi Kopf (AU)
ソル・ルウィット
Sol LeWitt (USA)
ジョン・マックラッケン
John McCracken (USA)
ロバート・モリス
Robert Morris (USA)
クリスチャン・フィリップ・ミュラー
Christian Philipp Müller (CH)
ブルース・ノーマン
Bruce Nauman (USA)
ダン・ピーターマン
Dan Peterman (USA)
ミケランジェロ・ピストレット
Michelangelo Pistoletto (I)
フレッド・サンドバック
Fred Sandback (USA)
カーリン・ザンダー
Karin Sander (G)
竹岡雄二
Yuji Takeoka (J)
トニー・タセット
Tony Tasset (USA)
ピオトル・ウクランスキー
Piotr Uklanski (PL)
ロルフ・ヴァルツ
Rolf Walz (G)
ローレンス・ウェイナー
Lawrence Weiner (USA)
ハイモ・ツォーベルニク
Heimo Zobernig (AU)
special guest:
John Isaacs (GB)



ドナルド・ジャッド《箱》1988 Sammlng Björn Larsson
©VG Bild-Kunst, Bonn 1998



ピオトル・ウクランスキー《ダンス・フロア》1996
Courtesy Galerie Voges+Deisen, Frankfurt / Gavin Brown Enterprise, NY



カール・アンドレ《置かれた彫刻》1964/5
Courtesy of the artist. ©VG Bild-Kunst, Bonn 1998



ミケランジェロ・ピストレット《無限の立方体》1965/6
Courtesy Maria Pistoletto

2001年
4月10日(火) - 6月3日(日)

開館時間=10:00-18:00 平日の金曜日は10:00-20:00
入館は閉館の30分前まで

休館日=毎週月曜日 但し4月30日(月・祝)は開館 翌5月1日(火)休館

入館料=一般1,000円(800円)/大・高生700円(560円)/中・小生300円(240円)
()内は前売・団体30名以上の料金
4月28日-30日の3日間は、市制施行80周年記念無料開放

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

NTTハローダイヤル=043-227-8600

URL=<http://www.city.chiba.jp/art>

ミニマル マキシマル専用URL=<http://plaza19.mbn.or.jp/~CCMA>

主催=千葉市美術館/ブレイメン・ウェザーグループ現代美術館(ドイツ)

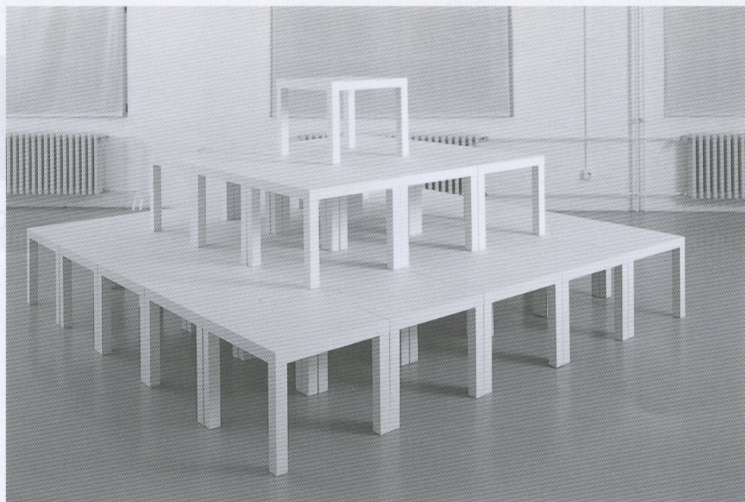
後援= 協力= THE FINE ART PACKING & SHIPPING GROUP
ART HANDLING SPECIALIST GARY HOLZ

助成= ドイツ対外文化交流研究所/ スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

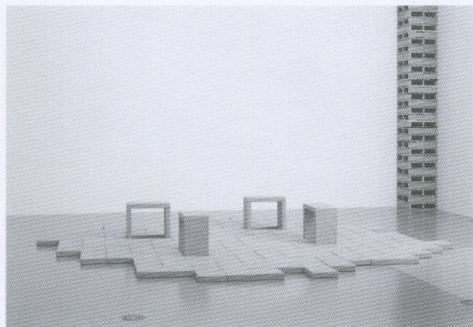
財団法人花王芸術・科学財団

ミニマルアートとは20世紀後半の最も重要な美術の動向です。1960年代にドナルド・ジャッド、カール・アンドレ、ソル・ルウィットなどの芸術家がシンプルで幾何学的な形態を利用した作品をアメリカで発表し、瞬く間に世界中を席巻しました。その傾向は欧米、そして東洋の実に多くのアーティストに影響を及ぼし、今なおその力は衰えません。以降の世代はミニマルアートに対する批判、展開など様々なスタンスにより、ミニマルアートがモダニズムの絶頂であり、同時にその終焉期の始まりであったことを示しています。また、ミニマルアートは今日私たちの身の回りのデザイン、建築、音楽や舞台芸術にも少なからぬ影響を与えてきました。今ではいたる所でそれを感じ取ることが出来ます。

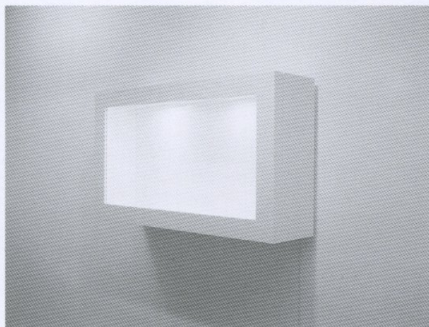
この展覧会はこのような重要なミニマルアートとその後の多様な展開を、国内で初めて纏まったかたちで紹介いたします。作品は世界屈指のコレクター・ミュージアムであるドイツのブレーメン・ヴェーザーブルク現代美術館の協力を得て、欧米一円から集められます。



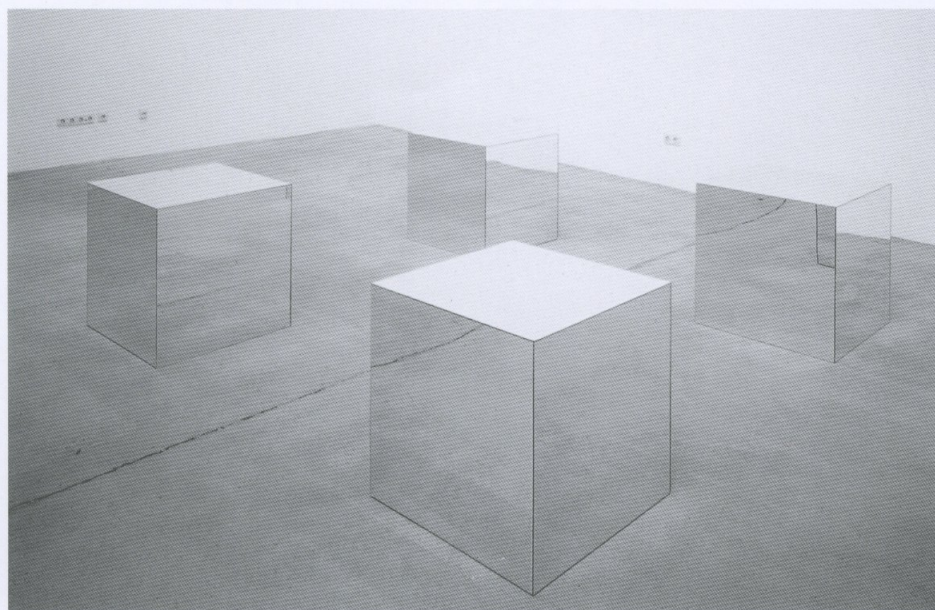
クリスチャン・フィリップ・ミュラー 《無題》1998 Photo: Courtesy Galerie Christian Nagel, Köln
同作家の別作品が展示されます。



ダン・ピーターマン 《One Ton Setting》1997
Photo: Courtesy Galerie Klosterfelde, Berlin 同作家の別作品が展示されます。



竹岡雄二 《ショーケース》1996 Courtesy of the artist



ロバート・モリス 《無題(鏡の立方体)》1971
1971 Courtesy Galerie Philomene Magers, München ©VG Bild-Kunst, Bonn 1998



ヴェーザーブルク現代美術館(ブレーメン)
壁面の文字はL・ウェイナーの作品

お問い合わせ先 260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8
NTT ハローダイヤル 043-227-8600
美術館 phone. 043-221-2311
美術館 URL <http://www.city.chiba.jp/art>
ミニマルマキシマル専用 URL
<http://plaza19.mbn.or.jp/~CCMA/>

●イベント情報

■講演会

「ヴェーザーブルク現代美術館とミニマル マキシマルのコンセプト」
(独日逐次通訳つき)
4月14日(土) 14:00
ペーター・フリーゼ氏(ヴェーザーブルク現代美術館 キュレーター)
会場: 千葉市美術館講堂(11階) 無料
当日先着150名様までご入場頂けます

■ギャラリートーク(担当学芸員による)

4月22日(日)、4月29日(日)、5月6日(日)、6月3日(日)
いずれも 14:00- 8階展示室入口集合 参加自由

■シャトルバス

4月14日から5月27日までの土日祝日、「ミニマル マキシマル」開催中の千葉市美術館と「ゲルハルト・リヒター ATLAS」開催中の川村記念美術館の間を下記のシャトルバスが連絡します。(無料・予約不要)

川村記念美術館発 12:30 - 千葉市美術館着 13:30
千葉市美術館発 13:30 - 川村記念美術館着 14:30

■日帰りアートツアー

4月14日から5月27日までの土日祝日に千葉市美術館と上記の川村記念美術館を1日で巡るバスツアーを企画しています。公共交通機関よりも有効に時間を利用し、しかも格安にお楽しみ頂けるアートツアーです。

東京駅丸の内口10:00発 19:00頃着/前々日午後4時までに要予約申込み・詳しくは川村記念美術館:043-498-2131 まで。
予約はeメール(info@kawamura-museum.com)でも受け付けます。
参加費 一般3,800円 大高生・70歳以上3,400円 中小生2,800円
*参加費には2館の入館料が含まれています。食事は含まれておりません。

日帰りアートツアー・シャトルバスの運行日:

4/14(土)、15(日)、21(土)、22(日)、28(土)、29(日)、30(月)、
5/3(木)、4(金)、5(土)、6(日)、12(土)、13(日)、19(土)、
20(日)、26(土)、27(日)

●関連企画

ミニマル・アートはいかに引きつがれているかー来日アーティストとキュレーターを囲んで(日独同時通訳つき)
日時:2001年4月11日(水) 17:30/会場:ドイツ文化会館ホール
東京都港区赤坂7-5-56
(地下鉄青山一丁目A4出口より徒歩7分、草月ホール手前右折)
主催:東京ドイツ文化センター

◆〈基調講演〉

ペーター・フリーゼ(ブレーメン・ヴェーザーブルク現代美術館)

◆〈パネルディスカッション〉

司会: 半田滋男(千葉市美術館)/カールン・ザンダー(シュトゥットガルト)、竹岡雄二(デュッセルドルフ)、山口洋三(福岡市美術館)/尾崎信一郎(京都国立近代美術館)ほか。

◆20:30より懇親会を予定。

お問い合わせ: Tel. 03-3584-3201

インフォメーション: <http://www.goethe.de/tokyo>

参加申し込み: 準備の都合上4月9日までに、お名前・ご所属、懇親会へのご参加の有無をご明記の上、東京ドイツ文化センター FAX. 03-3586-3069宛て、お知らせ下さい。参加無料。

●交通案内

■東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ。貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km広小路交差点近く 地下駐車場あり
■JR利用 東京駅地下ホームから総武線快速千葉方面行で千葉駅まで約42分。東口から徒歩約15分。駅前からバス「大学病院・南矢作」行(のりば⑦)3つ目「大和橋」下車徒歩2分(千葉駅からの運賃100円)。無料シャトル「チーバス」(のりば⑩)「美術館・中央区役所」下車(11:05-18:35の毎時05.35分出発、水曜運休)
■京成千葉中央駅下車 徒歩約10分

